

## [目次]

まえがき || 三村信男——i

サステイナブルな仲間を作ろう || 小峯秀雄——vii

本書の構成について——xi

### [第I部]

## サステイナビリティ学の誕生

3 1章 21世紀の諸課題とサステイナビリティ学 || 田村誠/三村信男

### [第II部]

## サステイナビリティ学の実践[1] 地球システムへのアプローチ

- 45 2章 地球環境を支える微生物たち || 太田寛行  
55 3章 日本の森林と持続可能性への展望 || 堀良通  
67 4章 地球温暖化問題の構造化 || 三村信男/横木裕宗  
79 5章 複合地盤災害と適応 || 村上哲/安原一哉  
87 6章 地球システムへのアプローチ | コメント:  
地球システムのなかの人間 || 葉倩璋

### [第III部]

## サステイナビリティ学の実践[2] 社会システムへのアプローチ

- 97 7章 エミッションコントロールと対応策 || 小峯秀雄  
109 8章 世界の食料問題とサステイナビリティ || 中川光弘  
121 9章 ハリケーン・カトリーナとアメリカ社会:  
維持可能な発展へ向けて || 原口弥生  
131 10章 国境を越える社会問題 || 稲葉奈々子  
141 11章 社会システムへのアプローチ | コメント:  
持続可能な社会システムの構築を目指して || 佐藤嘉則

### [第IV部]

## サステイナビリティ学の実践[3] 人間システムへのアプローチ

- 151 12章 気候変動の健康影響 || 上地勝  
161 13章 自然災害が人々の心身にもたらす影響:  
「心のケア」再考 || 伊藤哲司  
173 14章 「稲むらの火」のモデル濱口梧陵:  
人間愛と機転に満ちたハードとソフトの適応策 || 大辻永  
185 15章 「開発」からの脱却と人間の安全保障 || 蓮井誠一郎  
197 16章 人間システムへのアプローチ | コメント:  
人間とはなにかが問われている || 寺内美紀子

### [第V部]

## サステイナビリティ学の展望

- 209 17章 サステイナビリティ学と適応:気候変動に対する適応策の検討 ||  
三村信男/ジョン・E・ヘイ  
223 18章 サステイナビリティ学と対話の構造:  
インターローカルに生きる方法 || 伊藤哲司  
241 19章 サステイナブルに生きるということ || 木村競  
253 あとがき || 伊藤哲司

### 付録

- 255 サステイナビリティ学のための基本文献  
269 用語集  
281 引用文献  
290 執筆者紹介

## コラム

- 33 **1** | サステイナビリティ学連携研究機構、  
茨城大学地球変動適応科学研究機関——田村誠
- 35 **2** | 学生の声——田村誠
- 64 **3** | サゴヤシ：低投入持続型でんぶん生産作物——新田洋司
- 77 **4** | 原子力の平和利用——田切美智雄
- 85 **5** | オゾン濃度の増加をめぐる問題——北和之
- 119 **6** | カバークロップ利用による持続可能な農法——小松崎将一
- 129 **7** | 地球温暖化が都市景観を変える——小柳武和
- 139 **8** | ITを用いた防災・適応策——小澤哲
- 170 **9** | 生活質の向上——白石昌武
- 182 **10** | 持続可能な開発のための教育[ESD]——郡司晴元
- 195 **11** | 環境問題とジェンダー：  
サステイナビリティ学とジェンダーの視点——渋谷敦司